

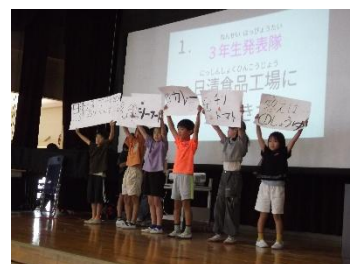
はるたっ子集会を開きました！

児童会活動は、子どもの自治的な活動として、自分たちで企画し運営する、とっても魅力的で大切な活動です。7月10日には全校児童が体育館に集い、楽しくて意義深い集会を行いました。今回のめあては「ききかた名人ナンバーワンになろう！」です。これまでの行事や集会では、自分たちが発表するときはとっても一生懸命発表できるのですが、他の人の発表を聴くときについついお友だちとしゃべったり、姿勢が乱れたりすることがひとつの課題となっていました。そこで各クラスの代表委員が集まって話し合う「なかまづくり会議」で、はるたっ子集会を計画するにあたって、「発表をしっかりと聴くことをめあてにしよう」と決めてました。集会では治田小のマスコットキャラクターの「やなぎん」に扮した子どもが替え歌「あたりまえ治田」にのって、おしゃべりをやめて前を向いて座ることを呼びかけました。おかげでとてもよい姿勢の子どもたちがたくさん増えて、発表に集中して聴くことができました。



まず5・6年生ががんばっている各委員会活動の紹介をしました。委員長は学校をよりよくするために活動していることを、原稿をあまり見ないで聴き手に伝わるように発表しました。次に3年生による校外学習の発表です。日清工場で学んだことをクイズを交えてわかりやすく発表できました。それから有志の発表があり、「廊下を走らず安全に歩きましょう」と呼びかけて

くれたり、素晴らしいダンスやイラストを披露してくれたりしました。どれも子どもたちの素敵な力を感じることができる素晴らしいものでした。子どもたちが自分たちの力でよりよい社会を形成していく姿が、たくさん見られた児童集会となりました。



夏休みにしかできないこと

夏休みが始まります。子どもたちにとっては自由に過ごせる時間がたくさんできて、どうやって過ごそうかと思いを巡らせていることと思います。ところがこの自由というのが難しかったです。学校のように時間や授業といった制限がないため、自分であることを決めないといけないという責任が伴います。ともするとゲームやスマホでだらだらと時間を費やしてしまい、結局何もできずに夏休みが終わったなんてことにもなるかもしれません。せっかくの自由な時間です。普段の学校ではできないような体験ができるとよいと思います。どっぷりと読書をするとか、何かを製作する、料理に挑戦する、様々なイベントに参加していろいろな人と関わるなど、時間の使い方は無限に広がります。お子さまといっしょに考えていただき、自分から決めて行動に移せる夏休みにできるよう願っています。

サーキュレーターを寄贈いただきました

株式会社京都銀行の「京銀SDGs私募債『未来にエール』～次世代を担う子どもたちへ～」という事業により、株式会社アンサーの代表取締役会長である北川明広様より、サーキュレーター14台を寄贈いただきました。北川様は本校の卒業生でもあり、本校の子どもたちのためにという思いから、寄贈を決めていただいたそうです。熱中症が心配される中、教室の空調が心配なクラスに配置し、大切に使用させていただいています。ありがとうございました。



贈呈式の様子

夏季休業中の連絡先

- ・連絡や相談等がある場合は学校（TEL:552-0449）までご連絡ください。
- ・事故に遭われた場合や急に転出が決まられた場合なども、すぐに学校へご連絡ください。
- ・学校へ来られた際は、玄関横のインターホンを使ってお声かけください。
- ・不審者等に関する情報は、草津警察署（TEL:563-0110）または、手原駅前交番（TEL:552-1110）へ速やかに通報してください。
- ・8月8日（土）～16日（日）は「学校閉校日」です。期間中の緊急連絡等は、栗東市教育委員会学校教育課（TEL:551-0130）、不通の場合は栗東市役所代表（TEL:553-1234）へご連絡ください。

